



EBPMの研究について

(Evidence-Based Policy Making)

【新宿自治創造研究所】

令和4年3月19日

本日の報告内容

- ① 新宿区をとりまく状況とEBPMの必要性
- ② 政策とは？政策の根拠について
- ③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？
- ④ EBPMの事例紹介
- ⑤ 新宿自治創造研究所の調査・研究

① 新宿区をとりまく状況とEBPMの必要性

ネガティブ要素

- ◆ 少子高齢化の進展
- ◆ 厳しい財政状況
- ◆ 社会経済情勢の不確実性の高まり

ポジティブ要素

- ◆ ICT（情報通信技術）の進展
- ◆ デジタル技術の進歩
- ◆ オープンデータ、ビッグデータ

多様化・複雑化・高度化する区民ニーズに対応するには、
現場現実に即した政策づくりが必要

データ活用、ICT活用の可能性

データや証拠(エビデンス)に基づく、
的確で効果のある政策立案を目指す必要

政策の根拠

Q1: なぜ、その政策なのか？

👉 政策の**必要性**の根拠が必要

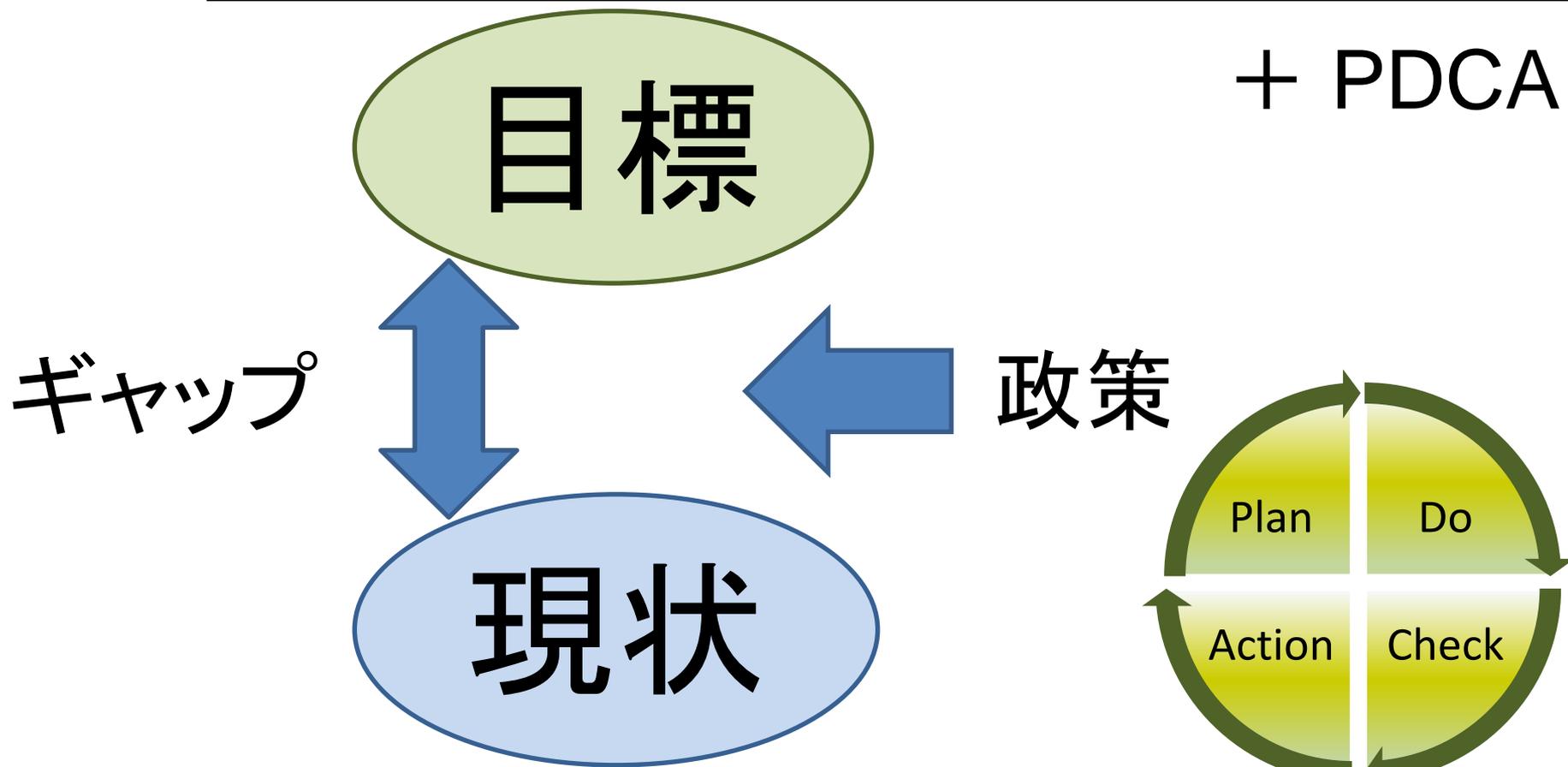
Q2: その政策で本当の効果が出ているのか？

👉 政策の**有効性**の根拠が必要

政策とは？

政策 = 目標と現状のギャップを埋める方策

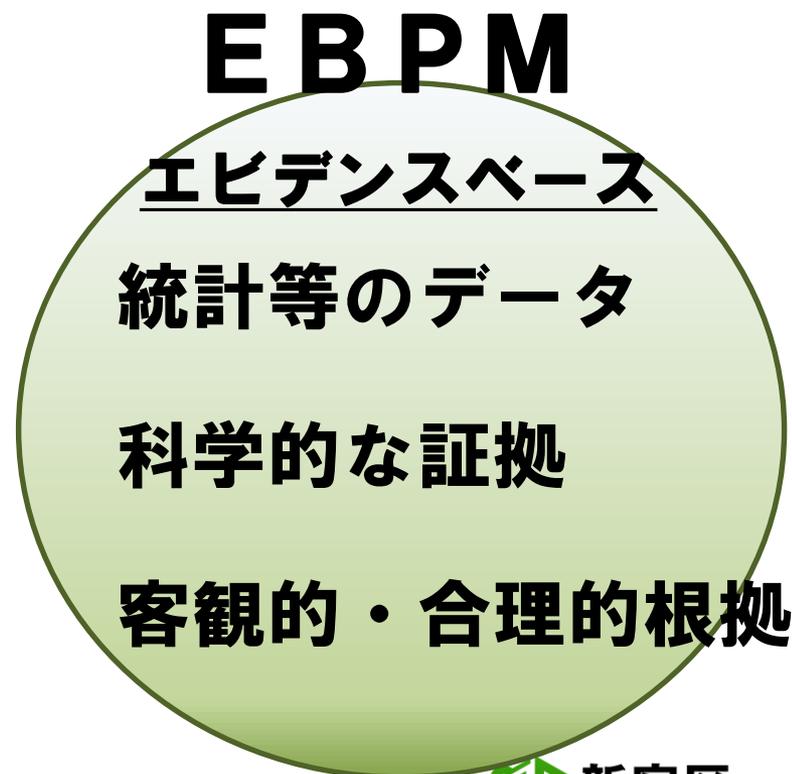
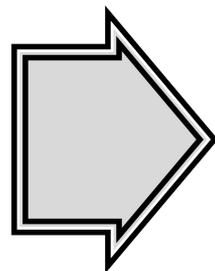
+ PDCA



③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？

新宿区におけるEBPM

政策づくりにおいて、政策の根拠と目的を明確化し、政策の手段と効果とのつながりについて、できる限り客観的に検証等を行うことで、その検証結果を政策の立案や改善につなげていくこと



③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？

エビデンス(証拠)とは何か

広義のエビデンスとは、
現状把握のための統計等の定量的データ、定性的データ、
それらの分析結果等

👉 政策の**必要性**の根拠 ※

「なぜ、その政策なのか？」に対応

狭義のエビデンスとは、

- ・政策とその成果(アウトカム)の因果関係
- ・政策と効果の関係を、データを活用し、客観的に検証した結果

👉 政策の**有効性**の根拠 ※

「その政策で、本当の効果が出ているのか？」に対応

※ エビデンスに結び付けた「政策の必要性の根拠」「政策(手段)の有効性の根拠」という表現については、
2022年1月21日(金)実施 令和3年度政策評価に関する統一研修の小林庸平講師
『政策評価とEBPMをどう連動させるか？—基本的な考え方と実践例—』, p.5 を参考にさせていただきました。

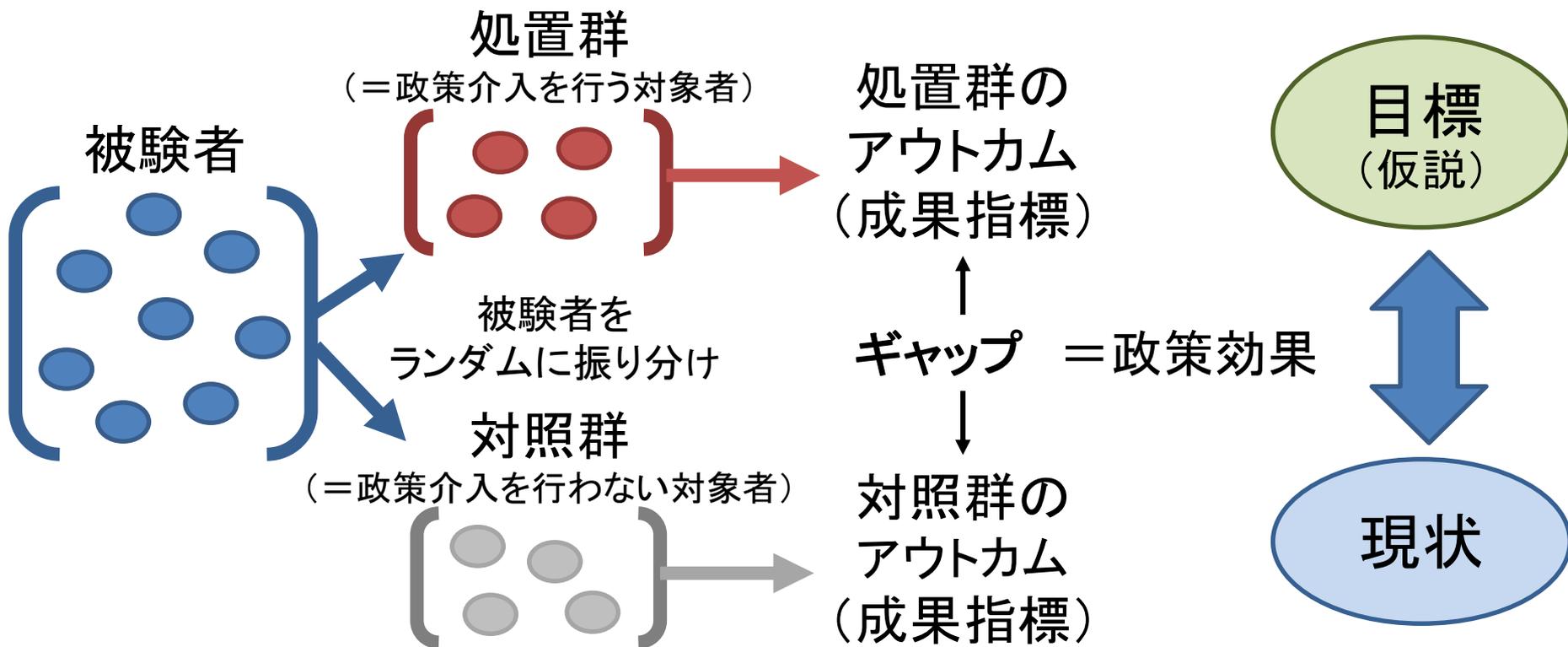
統計的な分析の手法(一例)

- ・ランダム化比較試験(RCT)
- ・回帰不連続デザイン
- ・操作変数法
- ・差の差の分析
- ・重回帰分析
- ・前後比較

③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？

ランダム化比較試験(RCT)

ランダム化比較試験とは、政策の介入対象者(処置群)と、政策の非介入対象者(対照群)をランダムに振り分け、実験的な効果を比較する手法。
政策と成果の因果関係＝狭義のエビデンスを定量的に明らかにできる



神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」



葉山町職員の大前正嗣氏 『葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト』, 2019 を参考にしています。
同資料は、神奈川県政策研究フォーラム平成30年「自治体におけるEBPMの推進に向けて」登壇時に使用された資料。

神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト概要

- Step1. 現況調査 (H27年11月)
 - ▶ モニタリング調査による現状把握
- Step2. 対策の検討(H27年12月からH28年3月)
 - ▶ ワークショップにより対策案を決定
- Step3. 対策の効果検証 (H28年5月から6月)
結果の共有 (H28年8月)
 - ▶ ランダム化比較実験 (RCT)
- Step4. 政策の実行 (H29年12月)

神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

「ランダム化比較実験（RCT）」

期間：平成28年5月16日～6月13日

160箇所 延べ**115人**が **1600回**モニタリング

どのステーションがどの対策をやるのかは**くじ引き**で決定

モニタリング対象の
資源ステーション

160ヶ所

* 全ステーションの約3割

対策1グループ

チラシのポスティング **54**ヶ所



対策2グループ

収集終了の看板 **53**ヶ所



対策なしグループ

53ヶ所

神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

結果の共有 エビデンス出ました②



収集終了看板
に効果有り

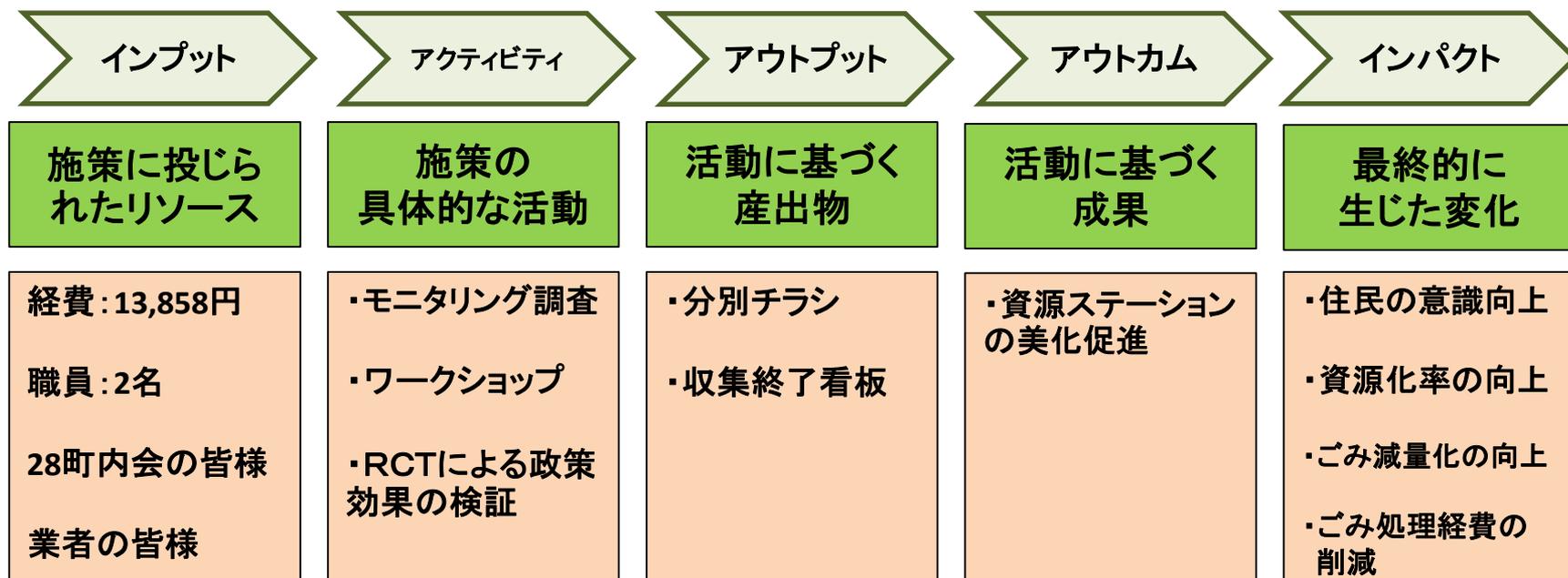
不法投棄全体で
15%減の効果

しかも、効果が持続した

神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

プロジェクトのロジックモデル

課題：資源ステーションの美化



葉山町職員の大前正嗣氏 『葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト』, 2019

同資料は、神奈川県政策研究フォーラム平成30年「自治体におけるEBPMの推進に向けて」登壇時に使用された資料。

[<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/44494/2-4kanagawaebpmforumhayama.pdf>]

新宿自治創造研究所の調査・研究

令和3(2021)年度

EBPMの定義

EBPMの理論・手法

EBPMへ至る経緯と現状
(EBPM先進事例)

EBPMの推進に向けて
新宿区におけるEBPM

基礎的な研究

令和4(2022)年度

EBPMの事例研究
(より発展的な事例研究)

EBPMに向けた実務的な検証・
分析

職員向アンケート調査・分析

庁内EBPM研修の内容検討

実務的な研究

令和4年度 EBPMの推進に関する調査・研究

新宿区の事業の検証を実施

行政評価
の確認

ロジックモデル作成

事業の根拠と目的を明確化
事業の手段と効果の検証

事業の
課題
整理

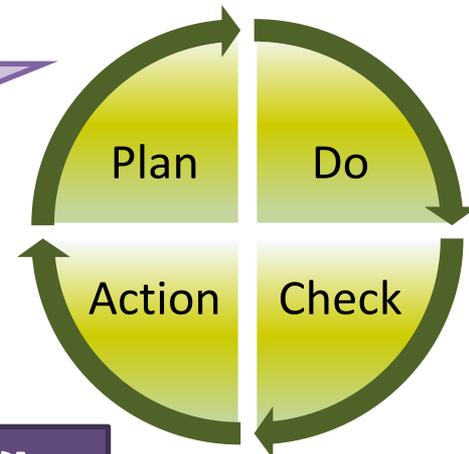
事業見直し

予算要求

事業実施

現課

新宿自治創造
研究所



検証を通じたPDCAサイクル活性化